

令和 8 年度転入学用
小千谷市立小千谷中学校 上ノ山分校
(学びの多様化学校)

転入学の手引き

令和 7 年 10 月
小千谷市教育委員会

1	はじめに	1
2	スクールビジョン	2
3	小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校の概要	3
4	対象となる生徒	4
5	スクールビジョンを実現するために	5
6	教育課程・学校生活など	7
7	転入学の流れ	10
8	上ノ山分校 Q&A	12
9	問い合わせ・相談窓口	15



小千谷市イメージキャラクター
「よし太くん」

Ⅰ はじめに



学校に行きづらさを感じている子どもたちのための新たな学びの場として、小千谷市では令和8年4月、学びの多様化学校*「小千谷市立小千谷中学校上^{うえのやま}ノ山分校（学びの多様化学校）」を開校します。

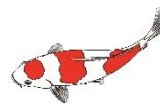
学校へ行きたい、学びたいという気持ちがありながら、様々な要因で在籍校に通学できない子どもたちが、「上ノ山分校（学びの多様化学校）」への転入学をきっかけに、他の生徒や職員とかかわりながら学校生活を送り、楽しく、自分らしく活動に取り組み、安心して通学できる学校を目指します。

* 「学びの多様化学校」とは？

学校に行きづらさを感じ、思うように登校できない子どもたちの実態や状況に配慮しながら、一人一人に合った学びを提供するために文部科学省が特別に指定した学校のことです。

学びの多様化学校では、通常の学校で行われている教育課程（カリキュラム）ではなく、子どもたちの状況に応じて、柔軟で多様な教育課程のもと、教育活動が行われます。

2 スクールビジョン



自ら考え 心豊かに たくましく生きる 小千谷の子ども

- 深く考える ○主体的に取り組む ○善悪の判断ができる
- 感謝する心をもつ ○相手を思いやる ○協力して取り組む
- あきらめずにやりとげる ○命を大切にする ○健康な身体をつくる
- ふるさとを大切にする ○夢や目標をもって取り組む



“自分らしく”を大切にできる、新しい学びのカタチ

安心できる学び

- ◎学び直しの場の設定
- ◎一人一人の学習状況に応じた最適な学習支援
- ◎少人数指導による細やかな配慮

つながる場

- ◎安心して自己開示できる仲間づくり
- ◎協働で学び合う学習の設定
- ◎地域、多世代との交流

広がる体験

- ◎ワクワクする体験学習の充実
- ◎夢や希望につながる探究活動
- ◎未来を描くキャリア体験活動

3 小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校の概要



- (1) 文部科学省が指定する「学びの多様化学校（不登校特例校）」です。
- (2) 自分のペースで学べることを大切に、一般の中学校よりも授業時数を減らすことで負担の少ない教育課程を編成します。また、体験的な学習を行う新設教科を実施します。
- (3) 小千谷中学校の分校として、小千谷市民学習センター「楽集館」の1階に、令和8年4月に開校します。
- (4) 定員は30名（各学年10名）程度です。
- (5) 各教科の教員のほか、スクールアシスタント、スクールカウンセラー等を配置する予定です。



4 対象となる生徒



次の（１）～（３）のすべてに該当する生徒のうち、教育委員会が認めた生徒

- （１） 令和８年度に中学校１～３年生となる生徒
- （２） 不登校状態である生徒または不登校傾向が見られる生徒
- （３） 「小千谷市立小千谷中学校上ノ山分校（学びの多様化学校）」で学びたいという思いのある生徒

- ・ 小千谷市及び近隣市町村に在住している生徒を想定していますが、学区は特に設定していません。
- ・ 「不登校状態」とは、年間 30 日以上欠席をし、何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、児童生徒が登校しないあるいはしたくてもできない状況をいいます。
- ・ 「不登校傾向が見られる」とは、①登校することはできるが、別室登校や時間差登校、短時間登校、玄関登校等をしている、②登校せずに、校外教育支援センター「マイルーム」やフリースクール等に通所している状況等をいいます。
- ・ 少人数学校の特長を活かしたていねいな支援を行いますが、通常の学級であり、特別支援学級や通級指導教室とは性質が異なります。

5 スクールビジョンを実現するために



(1) 校時表の工夫

朝の体調に波がある生徒も安心して登校できるよう、始業時刻を 9 時 30 分に設定し、無理のないスタートをサポートします。また、1 単位時間の授業時間を 45 分、1 日 5 時間授業（午前 3 時間、午後 2 時間）とし、生徒の負担感を軽減します。それによって、教職員がゆとりをもって生徒と向き合う時間を確保します。

(2) 一人一人に応じたきめ細やかな支援体制の構築

「個別の支援計画」を作成し、長期目標、短期目標の達成に向けた具体的な取組について生徒、保護者と共有し、連携しながら一人一人の特性に応じたきめ細やかで丁寧な支援を行います。通知表は廃止しますが、学習や生活の状況については、学期 1 回の保護者面談にて情報交換を行います。希望によっては、教員やスクールカウンセラーが随時面談を行います。

(3) 校内教育支援センターや相談室の設置

登校しても他の生徒のいる場所に入りづらいと感じている生徒の居場所となる校内教育支援センターを設置し、担当職員を配置します。また、スクールカウンセラーが相談室に常駐し、生徒がいつでも気軽に悩み相談ができるようにしたり、定期的に個別のカウンセリングを行ったりするなど、生徒の心の安定を図ります。さらに、教職員も生徒の心に寄り添えるように、計画的に研修を行い、教職員による伴走支援を大切にします。

(4) 新設教科（特別な教育課程）

① フィールドタイム（週3時間）

小千谷市の自然豊かな環境を活かした体験活動を取り入れ、生徒が自主的に学ぶことができるような教育課程を設定します。

具体的には、小千谷市民の家「おちゃ〜る」を利用したキャンプや宿泊体験を予定しています。学年に関係なく、共に活動し、自然へ挑戦したり、他者と協働したりすることにより、自己有用感や自立性の育成を目指します。その他に、地域の方々を先生として招き、畑作学習や陶芸づくりを行う予定です。さらに、ふるさと小千谷の文化に学ぶ機会として、錦鯉・闘牛・片貝花火・小千谷縮・小千谷そば等から生徒が探究・体験したい内容を選択して、主体的に学ぶ力を高めていきたいと考えています。

② マイスタディタイム（週5時間）

生徒の学習の理解度や認知の特性など、一人一人の状況に応じて最適な学習支援を行い、自信をもたせ、自己肯定感を高められるような教育課程を設定します。

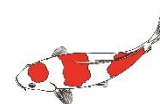
具体的には、学年を自由に行き来できる ICT 教材（教科書に準拠）を導入し、各自のペースや理解度に合わせて学習を進めます。マイスタディタイムにおいて学習する教科や内容は、5教科（国語、社会、数学、理科、外国語）の中から生徒が自主的に選択します。

③ ふれあいタイム（週1時間）

将来を見据えたキャリア教育を行うことに加え、生徒同士や教職員、地域の方々とコミュニケーションに重きを置き、社会性を育成する教育課程を設定します。

具体的には、「人間関係をよりよくするためのプログラム」「全校コミュニケーション活動」を月1回実施します。また、生徒の状況に合わせて、グループごとに自由に交流し合う時間を設定したいと考えています。

6 教育課程・学校生活など



(1) 年間授業時数（予定）

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	フィールド タイム	マイスタディ タイム	ふれあい タイム	計
1年	70	70	70	70	35	35	70	35	105	0	0	0	105	175	35	875
(標準1年)	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35				1015
2年	70	70	35	105	35	35	70	35	105	0	0	0	105	175	35	875
(標準2年)	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35				1015
3年	35	105	70	105	20	20	70	30	105	0	0	0	105	175	35	875
(標準3年)	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35				1015

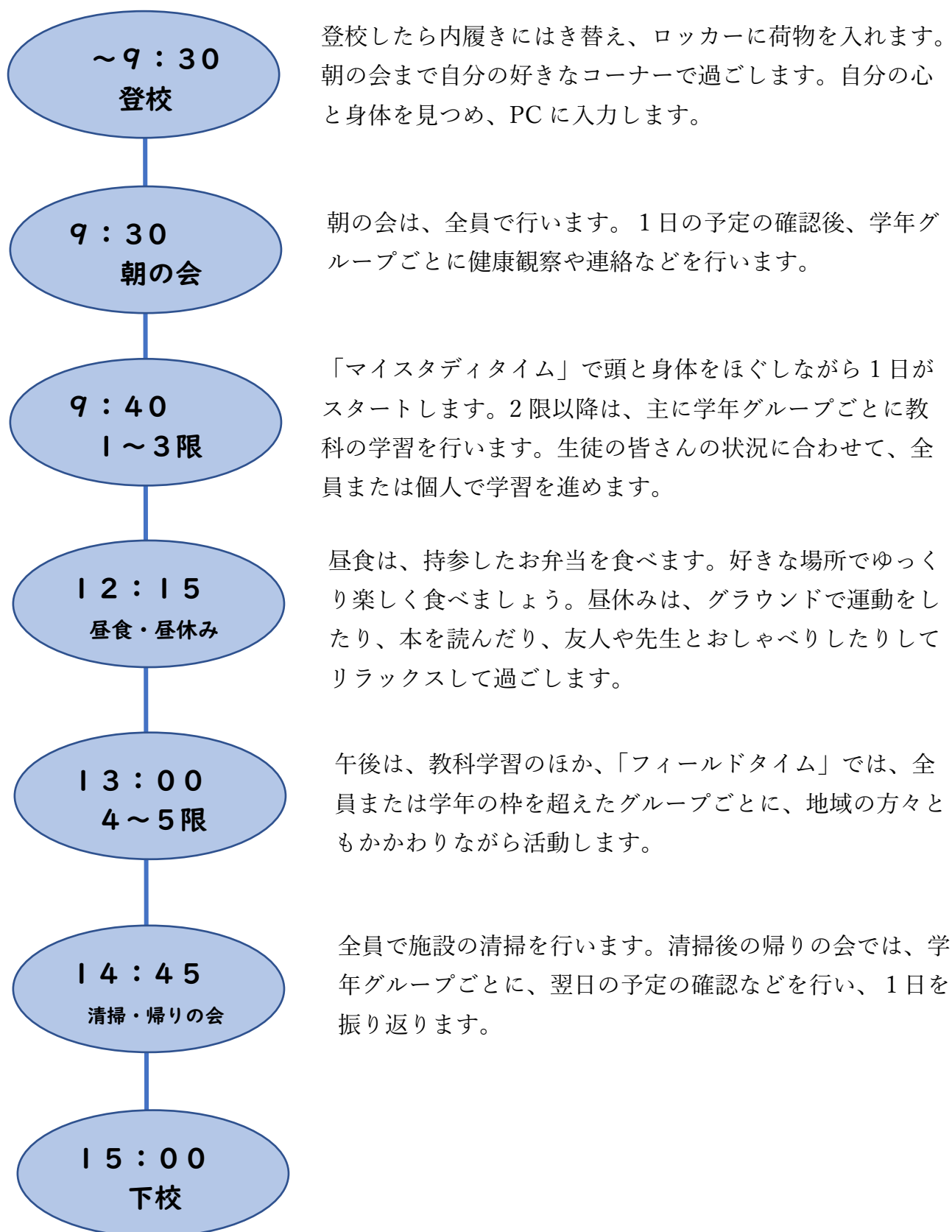
(2) 時間割（イメージ）

	時間	月	火	水	木	金
登校	9：30					
朝の会	9：30～9：40	1日の予定確認				
1	9：40～10：25	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム	マイスタディ タイム
2	10：35～11：20	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
3	11：30～12：15	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
昼食・昼休み	12：15～13：00					
4	13：00～13：45	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習	教科学習
5	13：55～14：40	ふれあい タイム	フィールド タイム	教科学習	フィールド タイム	フィールド タイム
清掃	14：45～14：55	学校や学校周辺の清掃				
帰りの会	14：55～15：00	1日の振り返り				
下校	15:00					

(3) 学年ごとのグループ、学年の枠を超えたグループ

各教科の学習は学年ごとのグループ、それ以外の活動は、学年の枠を超えたグループで行います。生徒は、それぞれ2つのグループに所属し、学習や活動を行いながら、自律性、協調性、社会性を育みます。複数の教員が各グループを担当し、相談窓口になります。

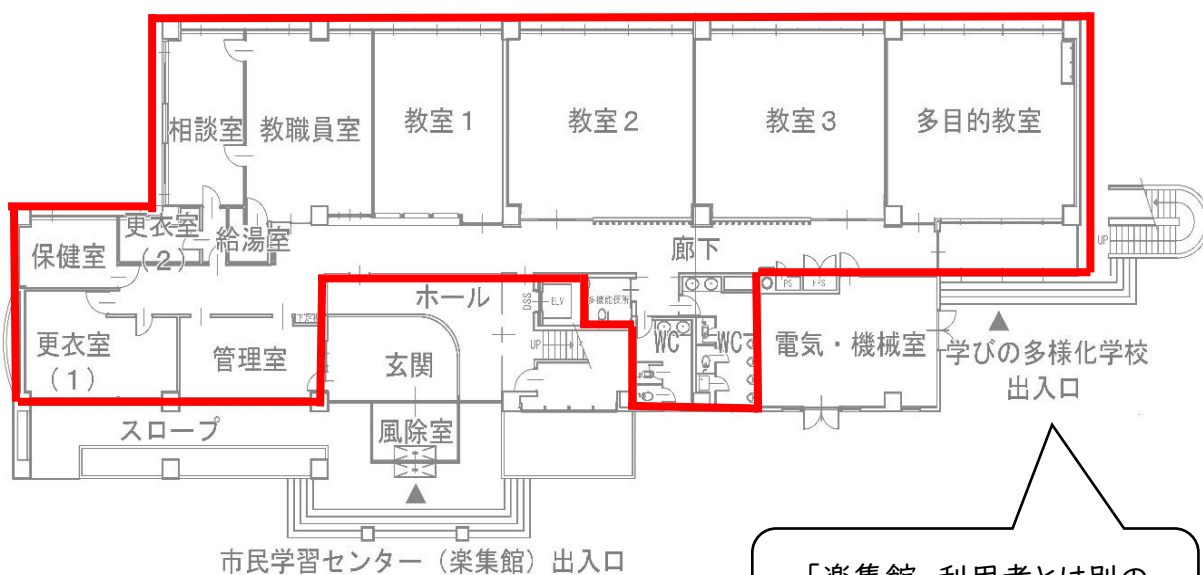
(4) 1日の流れ（イメージ）



(5) 施設のレイアウト (1 階)

相談室のほか、教室に入り
づらいと感じている生徒の
居場所も設置します。

教室1～3に、学習コーナーやリラックスクーナー
などを設置します。



「楽集館」利用者玄関と学校とは壁で
仕切られています。

「楽集館」利用者とは別の
出入り口から登下校します。

※ 必要に応じて、2，3階の施設も利用する予定です。

7 転入学の流れ（予定）



内 容	時 期	申し込み 他
学びの多様な学校 説明会 (生徒・保護者)	第1回 10月9日(木) 19:00~20:00 第2回 10月19日(日) 10:00~11:00 第3回 10月28日(火) 19:00~20:00	転入学を検討されている方は、 <u>いずれかの回</u> にご参加ください。各回の内容は同じです。 参加申し込みはこちらから→ 
学びの多様な学校 体験入学 (生徒)	第1回 11月16日(日) 9:30~11:30 第2回 11月29日(土) 13:00~15:00 ※ 申し込み受付期間 第1回 10/9(木)~11/13(木) 第2回 11/17(月)~11/26(水)	<u>各回の内容は異なります。</u> 両日参加いただくことで、本校のイメージをさらに膨らませることがができますので、両日続けての参加をお勧めします。 第1回  申し込み→ 第2回  申し込み→
教育委員会相談会 (生徒・保護者)	12月中旬~12月下旬 ※実施日時是个別に連絡します。	転入学を検討されている方は、 <u>必ず</u> 申し込んでください。
転入学申請書提出 【記入例 P11】	1月上旬~ ※「転入学申請書」は <u>在籍校を通して</u> お渡しいたします。 <u>教育委員会相談会を経ないと</u> 申請書はお渡しできません。	①在籍校に上ノ山分校への転入学の意思を申し出てください。 ②「転入学申請書」にご記入の上、 <u>在籍校</u> にご提出ください。
転入学説明会 (生徒・保護者)	2月	転入学対象の方に個別にご案内します。
プレ登校 授業開始	4月中旬 4月下旬	

転入学申請書 記入例

小千谷市教育委員会教育長 様

令和〇年〇月〇日

住 所 小千谷市城内●－■－▲

保護者氏名 小千谷 紬

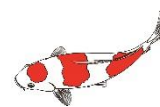
電話番号 090-1234-5678

小千谷中学校分校転入学申請書

小千谷中学校分校への転入学を希望するため、次のとおり申請します。

ふりがな 児童生徒氏名	おぢや よした 小千谷 よし太
生年月日	平成〇年〇月〇日
住 所	〒947-0028 小千谷市城内●－■－▲
電話番号	090-1234-5678
在籍校・学年	小千谷市立〇〇小学校 6年
通学方法	登校時：保護者の車 下校時：徒歩
特記事項	

8 上ノ山分校 Q&A



Q1 「上ノ山分校」と通常の学校との違いは何ですか？

上ノ山分校では、生徒一人一人のペースに合わせて学習を進めます。また、通常の学校よりも朝の登校時刻を遅らせ、午前3時間、午後2時間の授業を実施し、15時には下校します。教科の学習以外にも体験活動の時間、教科の学び直しの時間、他の生徒とコミュニケーションをとる時間を新設します。

Q2 校外教育支援センター「マイルーム」との違いは何ですか？

マイルームは、現在の在籍校に籍を置いたまま、交流活動や学習を通して、学校生活への復帰を図ることを目的としています。上ノ山分校は、入学・転学する必要がある学校で、独自の教育課程のもと教科の学習や活動を進めます。

Q3 年度途中の転入は認められますか？

上ノ山分校への転入学は、本人にとってそれが最適の選択肢であるかどうかを慎重に判断する必要があります。年度途中での希望がある場合は、学校体験や教育相談、保護者面談をていねいに行った上で判断します。

Q4 上ノ山分校で学ぶことによりエネルギーがたまり、元の学校に戻りたいとなった場合はどうなりますか？

原則として「卒業まで上ノ山分校で学ぶ」ことを前提に転入学することになります。上ノ山分校からの転出を希望する場合は、本人にとってそれが最適の選択肢であるかどうかをていねいに相談してまいります。

Q 5 どのような基準で転入学する生徒を決定しますか？

「前向きに頑張りたいという姿勢」「学ぶ意欲や動機」「欠席の状況」「支援の必要性やその対応」の観点から総合的に判断します。

Q 6 本人が外出をためらっている状況ですが、リモートでの対応はありますか？

上ノ山分校では、学校に通学することを原則としており、リモートでの対応の予定はありません。外出をためらっている状況であれば、現時点では別の支援が適していると考えます。転籍についての相談は、開校後も随時受け付けます。本人が「上ノ山分校で学びたい」という気持ちをもったときに転籍を選択肢に入れていただければと思います。

Q 7 進路はどうなりますか？

小千谷中学校の卒業となります。卒業後の進路については、公立・私立の高等学校（全日制・定時制・通信制）、専門学校、サポート校などが考えられます。個別に話し合いを行い、本人の希望を尊重して進路相談を行います。

Q 8 通学方法はどうなりますか？

徒歩及び自転車、公共交通機関で通学します（越後交通バス 小千谷～川西～十日町線「上ノ山三叉路」バス停から徒歩3分）。保護者による送迎も可能です。

Q 9 特別な費用はかかりますか？

公立の中学校なので、授業料は必要ありません。ただし、他の中学校と同様に教材費や校外学習費等は必要となります。

Q 10 制服はありますか？

指定された制服、運動着、内履き、通学靴等はありません。

Q 11 給食はありますか？

給食の提供はありません。昼食を持参してください。

Q 12 部活動や学校行事はどうなりますか？

上ノ山分校に部活動はありません。また、学校行事は、通常の学校で行われている修学旅行や体育祭等はありません。今後生徒のみなさんが行いたいと思う行事と一緒に作り上げていきたいと考えています。

Q 13 どんな先生がいますか？

教職員の配置については未定ですが、次のようになる見込みです。

- ・教頭（分校長）
- ・各教科の職員（5名程度）
- ・スクールカウンセラー
- ・スクールアシスタント 等

※校長は、本校の小千谷中学校長が兼務します。

Q 14 授業はどのように行いますか？

生徒の学習状況や心身の状態、教科の目標に応じて、学年ごとのグループ、学年の枠を超えたグループ、個別、全校など様々な形式で行う予定です。

Q 15 他の学校よりも少ない分（削減された分）の学習はどうなりますか？

他の学校よりも授業時数は少ないですが、学習指導要領に定められた学習内容については、各教科や新設教科の中ですべて扱っております。

9 問い合わせ・相談窓口



○ 小千谷中学校上ノ山分校についての問い合わせ・相談

窓 口 小千谷市教育委員会 教育・保育課

〒947-0028

小千谷市城内 4 丁目 1 番 38 号

小千谷市健康・こどもプラザ あすえ〜る 2 階

電 話 0258-83-3519（平日 8：30～17：15）

メール edu@city.ojiya.niigata.jp

※ 上ノ山分校（学びの多様化学校）の詳細については、小千谷市ホームページからご覧いただけます。

<https://www.city.ojiya.niigata.jp/soshiki/education/manabinotayouka.html>



○ 学校生活（不登校、登校しぶりなど）についての問い合わせ・相談

窓 口 小千谷市教育センター

電 話 0258-82-6750

（平日 9：10～12：00、13：00～16：00）